

国道4号大衡地区の道路計画検討（ルート帯案）に関する 意見聴取（第2回）を実施します

～皆様のご意見をお聞かせ下さい～

国道4号は、東京都中央区を起点とし、宮城県黒川郡大衡村を經由して青森県に至る延長約860kmの国内最長の国道です。

第1回意見聴取では、皆さまが感じている地域や道路の課題について、伺いました。第2回では、第1回意見聴取で頂いたご意見等をもとに、大衡地区の課題を解決するための道路のルート帯案を複数案検討し、提示しております。今後、地域にとって望ましい最適案を検討していく上で、重視すべき項目や今後の道路整備へのご意見等をお聞きする調査を行いますので、ご協力をお願いします。

<意見聴取概要>

調査票：大衡村、大崎市三本木地区、大崎市古川地区、大和町にお住まいの各世帯に配布します。また、市役所、役場、道の駅三本木等（別紙）に調査票・返信用ハガキを回収ボックスと併せて設置します。

回答方法：①返信用ハガキによる回答
※郵便ポスト又は回収ボックス（別紙参照）に投函して下さい。

②インターネットによる回答（仙台河川国道事務所ホームページ内）
URL：http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/index.html

聴取内容：地域にとって望ましい最適案を検討する際の
重視すべき項目等について（詳細は別紙）

実施期間：平成27年 2月 5日（木）まで

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

副所長 田口 和弘 TEL：022-248-4131（代表）（内線 205）

調査第二課長 武田 哲英 TEL：022-248-0048（直通）（内線 451）

皆さまのご意見をお聞かせください。

●第1回意見聴取において、地域の皆様を感じる国道4号大衡地区の課題が確認されました。今回は、大衡地区の課題を解決するための道路のルート帯案を検討し、複数提示しております。今後、地域にとって望ましい最適案を検討していく上で、重視する項目など今後の道路整備へのご意見等をお聞かせ下さい。

問1 利用頻度

あなた自身についてお聞きします。国道4号（大衡地区）の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1 毎日	4 ほとんど利用しない
2 週に数回程度	5 利用したことがない
3 月に数回程度	

問2 移動手段

国道4号（大衡地区）を通行する際の主な移動手段についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口にチェックをお願いします。（複数回答可）

1 自動車・バイク	4 バス
2 自転車	5 その他（ ）
3 徒歩	

問3 利用目的

大衡地区の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口にチェックをお願いします。（複数回答可）

1 通勤	5 私用（日常的な買物・食事等）
2 通学	6 仕事（営業・運送等）
3 通院	7 その他（ ）
4 観光・レジャー	

問4 第1回意見聴取の結果

第1回の意見聴取結果（国道4号大衡地区の課題）について、妥当だと思いますか？あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1 妥当だと思う	
2 どちらかと言うと妥当だと思う	
3 どちらかと言うと妥当だと思わない	【問5】へ
4 妥当だと思わない	【問5】へ
5 どちらとも言えない	

問5 意見聴取結果が妥当と思わない理由

※問4の質問で3または4を選んだ方にお聞きします。妥当と思わない理由についてお聞かせ下さい。（自由記述）

問6 ルート帯案を検討する際に重視する項目

今回、地域にとって望ましいルート帯案を検討する際に重視する項目はどれだと思われますか？あてはまる番号を3つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1 交通混雑が緩和すること
2 交通事故が少なく安全に走行できること
3 東北自動車道通行止め時の渋滞が緩和されること
4 歩道及び歩道幅員が確保されること
5 産業の活性化に繋がること
6 救急搬送が早く円滑であること
7 自然環境への影響が小さいこと
8 沿道施設への出入りがしやすいこと
9 生活環境への影響が少ないこと
10 建設費が安いこと
11 その他（ ）

問7 今後具体的なルートを検討する際に配慮するとよいと思う事項

問6でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮するとよいと思う事項があれば、具体的に聞かせ下さい。（自由記述）

問8 その他

これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。（自由記述）

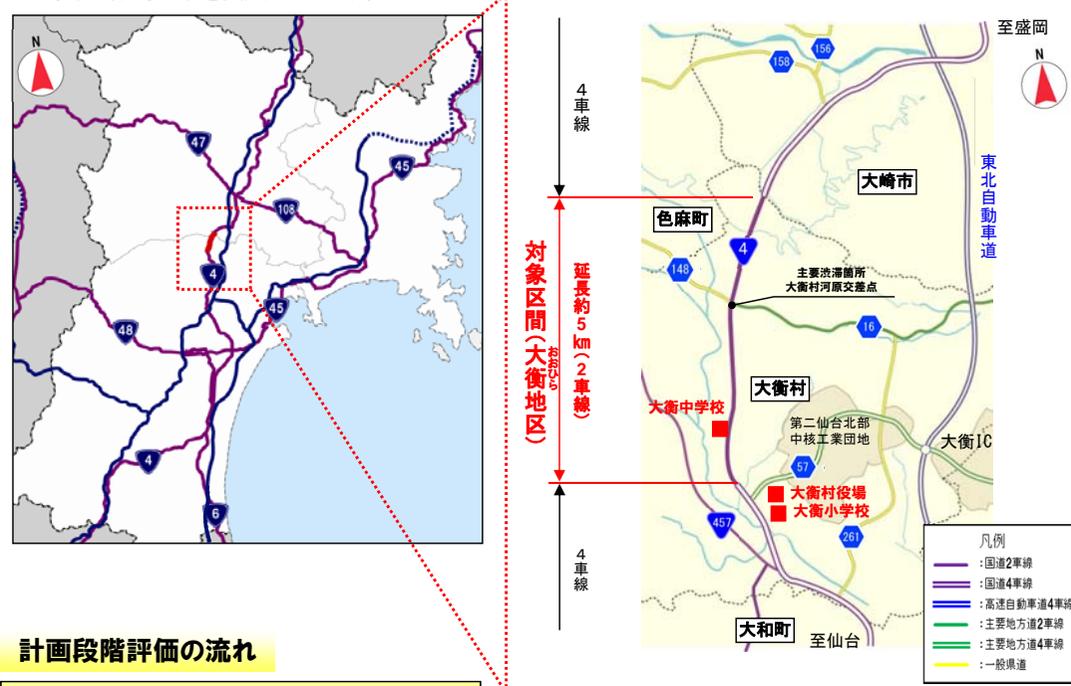
国道4号 大衡地区の計画検討に関する第2回意見聴取

国道4号は、東京都日本橋を起点とし、青森県に至る延長約860kmの国内最長の国道です。本調査は、仙台市～大崎市の道路整備の計画検討（計画段階評価）にあたり、皆様のご意見をお聞きするための意向調査を行うものです。

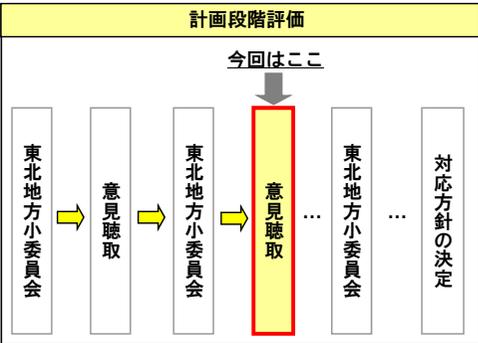
第1回意見聴取（前回）では、地域の皆さまが感じている地域や道路の課題について、ご意見をお伺いしました。

第2回意見聴取（今回）では、第1回意見聴取で頂いたご意見等をもとに、対策案（ルート帯案）を検討していく上での重視する項目等についてご意見をお聞きたく、ご協力をお願いします。

※「計画段階評価」とは、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数案の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものです。



計画段階評価の流れ



●計画段階評価の詳細情報は、「国土交通省仙台河川国道事務所HP」へアクセス願います。
●インターネットによる回答を行う場合には、「国道4号大衡地区 計画段階評価」で検索し、以下のバナーからアクセスして頂くか、以下のQRコードよりアクセスし、ご回答願います。

おおひら
国道4号 大衡地区
2月5日(木)まで ご意見募集

※東北地方小委員会の資料等は、国土交通省東北地方整備局のホームページでご覧いただけます。
<http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinikai/index.html>

第1回意見聴取の結果

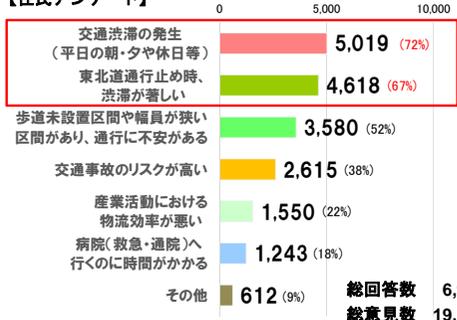
第1回意見聴取では、地域の住民の皆さまや国道4号を利用されている方などから **6,941票**、国道4号を利用されている企業・団体の皆さまから **100票**の回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。意見聴取結果(概要)を以下のとおりお知らせします。

国道4号 大衡地区の課題

住民アンケート及び企業・団体アンケート共に、約7~8割の方が「交通渋滞」「東北道通行止め時の渋滞」を課題に感じています。

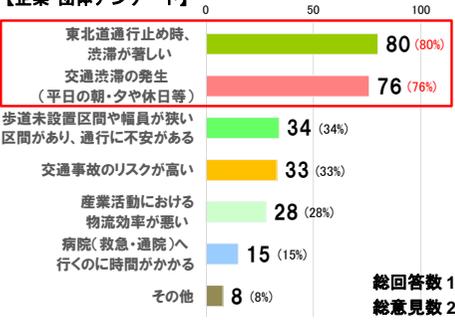
▼各課題の意見数と総回答数に対する回答割合

【住民アンケート】



▼各課題の意見数と総回答数に対する回答割合

【企業・団体アンケート】



※()内の%は総回答数に対する意見数の割合を示しています。

大衡地区の課題解決のための政策目標を設定しました

課題1. 2車線区間で交通混雑が発生、交通事故多発

- 大衡地区は走行性の良い4車線区間に挟まれた2車線区間であり、平日の朝夕や休日には走行速度が20km/hを下回ることがあるなど、混雑しています。
- 国道4号の大衡地区は交通事故が多く、約8割が追突事故です。また、死亡事故も発生しています。

目標 交通容量の確保と交通事故の減少

※1交通容量: どれだけ自動車混雑せずに通行できるかという、道路の能力。

課題2. 東北自動車道通行止め時は著しい渋滞が発生

- 東北自動車道の通行止め時は、国道4号に交通が集中するため、著しい渋滞が発生しており、時間信頼性が特に低くなっています。

目標 代替機能を強化し時間信頼性の向上

課題3. 東北復興の阻害要因となる物流のボトルネック

- 仙台北部中核工業団地群の自動車関連企業では、宮城県内からの調達が増えるなか、2車線区間がボトルネックとなっており、東北復興に重要な産業の活性化を阻害する要因のひとつとなっています。

目標 産業の活性化

※2ボトルネック: 道路の車線数が減少するなど、車の流れが阻害されるような場所。

課題4. 歩行者等に危険な歩行空間

- 通学路に指定されていますが、歩道がない区間や狭い区間があります。

目標 安全・安心な歩行空間の確保

課題5. 医療施設への速達性が劣る

- 2車線のため追い越しやすり抜けが困難で救急搬送に時間がかかっています。

目標 医療施設への速達性の向上



▲タ方の混雑状況



▲東北自動車道通行止め時の国道4号の混雑状況

国道4号大衡地区における概ねのルート帯(案)

政策目標を達成するための機能を有する道路として、経済性・沿道環境などに配慮し以下のようなルート帯の案を作成しました。

【案①】現道拡幅案 延長約5km

現道を拡幅する案



【案②】バイパス案 延長約5km

バイパスで新たに整備する案



評価項目	【案①】現道拡幅案		【案②】バイパス案	
	項目	内容	項目	内容
政策目標	交通容量の確保	・現道拡幅により現在の国道4号の混雑が緩和	項目	・新たに整備する道路に交通が転換することにより、現在の国道4号の混雑が緩和
	交通事故の減少	・現道拡幅により車線数が増えることで沿道への出入り車両を回避できる ・中央分離帯設置により、沿道の出入りが制限され交通事故が減少	項目	・新たに整備する道路に交通が転換することにより、現在の国道4号の交通事故が減少
	代替機能を強化し時間信頼性の向上	・交通容量の増加により、迂回路としての機能が向上	項目	・交通容量の増加により、迂回路としての機能が向上
	産業の活性化	・交通容量の増加により、物流等は時間通りの輸送ができる	項目	・交通容量の増加により、物流等は時間通りの輸送ができる
	安全・安心な歩行空間の確保	・現道拡幅に伴い、現在の国道4号全線に渡り歩行空間が整備	項目	・新たに整備する道路は、全線に渡り歩行空間が整備されるが、現在の国道4号の歩行空間は現状と変わらない
道路整備(影響)の観点	医療施設への速達性の向上	・交通容量の増加により、救急搬送が早く円滑になる	項目	・交通容量の増加により、救急搬送が早く円滑になる
	生活環境	・現道拡幅により、沿道への騒音など生活環境への影響は現状とあまり変わらない ・建物など、道路整備に影響のある物件が約50件	項目	・現在の国道4号から離れるため、沿道への騒音など生活環境への影響は改善される ・建物など、道路整備に影響のある物件が約20件
	交通アクセス	・中央分離帯設置により、現在の国道4号沿道施設への出入りは制限される	項目	・現在の国道4号の交通量が減少し、沿道施設へ入りやすくなるが、新たに整備する道路から現在の国道4号沿道施設へは直接出入りできない
	自然環境	・現道拡幅するため、自然への影響は小さい	項目	・新たな道路を整備するため、自然への影響は大きい
	整備に要する費用	約60~80億円	項目	約90~110億円